夢ある未来へ　人とともに、街とともに、大地とともに…

あつぎグリーンアート

JAあつぎ
組合員向け情報誌
https://www.ja-atsugi.or.jp/
JAN. 2024 vol.225
1

おかげさまで地域とともにJAあつぎ60周年
JAあつぎ 60th Anniversary
～感謝の気持ちで夢ある未来へ～

特集　農業でつながる笑顔の輪 ～明るい未来を願って～

厚木産イチゴのおいしい季節が到来

花を通じて子どもたちと交流を深める

JAあつぎ60周年・厚農商事（株）50周年を記念してバルーンリリースを実施

通年型食農教育事業「親子夢未Kidsスクール」で餅つきを体験

箱根駅伝での活躍を祈念して米と豚肉を寄贈

各地区で「すずしろいきいきクラブ」を開催

グリーンアーク
あつぎ
1 2024 January VOL.225

JA あつぎ
マスコットキャラクター
ゆめみちゃん

目　次

土とともに……2
新年のあいさつ……4
特集……6
農業でつながる笑顔の輪
～明るい未来を願って～
グリーンニュース……10
第76回神奈川県農業協同組合大会
青壮年部「KOME-1グランプリ」 ほか
あぐりスポット……14
夢未市・グリーンセンター かわら版……16
税のはなし／無料相談会のお知らせ……17
あつぎゆめ散歩／簡単！エクササイズ……18
スマイルステーション……20
インフォメーション……22
今月のレシピ／旬の農産物情報……24

JAあつぎ
https://www.ja-atsugi.or.jp/
JAあつぎ 検索

Instagram ▲JAあつぎ公式

▲農産物直売所「夢未市」

YouTube

▲JAあつぎ公式「ゆめみちゃんねる」

LINE

▲農産物直売所「夢未市」

土とともに

農業で地域を支える生産者を紹介

愛情を持って飼育 地域酪農を守るため奮闘

厚木市愛名
飯原（いいはら） 芳美（よしみ）さん（58）

南毛利地区にある２カ所の牛舎で乳牛を飼育。乳業メーカーを通じて、地域に新鮮な牛乳を届けています。

牛の過ごしやすい環境を整備

60年以上前から酪農を営む「飯原ミルクファーム」の長男として生まれた飯原さん。家業を手伝いながら、県立中央農業高等学校と東京農業大学に通い、技術を学びました。現在は妻の眞里子（まりこ）さん・息子の和葵（かずき）さんと、成牛・仔牛合わせて約50頭を飼育。多い時期は1日に約９００リットルの牛乳を出荷しています。

飼育では、牛のストレス軽減を第一に考え、自由に歩いて過ごすことができる「フリーストール牛舎」を導入しています。一般的な「繋ぎ飼い」と比較して、個体ごとの管理が難しいため、顔色や体毛のつや、乳量を小まめに観察し、異変があればすぐに獣医に相談するなど、愛情を持って牛に向き合っています。

牛舎では牛が自由に歩いて過ごす

仔牛の体調を確認

経営の継続に向けた取り組み

飼料価格の高騰や乳価の下落といった「酪農危機」に対応するため、一部の牧草を自家生産するなど、対策に努めています。令和５年６月１日の「牛乳の日」には、厚木市畜産会の一員として、本厚木駅前で牛乳を配布し、消費拡大を訴えるなど、地域酪農の活性化に向けて奮闘しています。

飯原さんは「酪農は牛乳を生産するだけでなく、堆肥の供給による資源の循環や、命と食のつながりを伝えるなど、地域の中で大きな役割を担っている。新鮮で安全な牛乳を地域に届けるため、経営努力を続けるとともに、将来、息子が円滑に営農していけるよう、知識の共有に努めていきたい」と話しました。

謹賀新年

今年の漢字は「繋」

昨年、JAあつぎ60周年という節目を迎え、これまでの協同活動を振り返る中で、地域におけるJAの役割を改めて実感いたしました。この先も、地域農業や組合の歩みを未来に繋いでいくため、組合員・地域との繋がりを大切に、協同の力を結集して農業やJAを取り巻く困難に力強く立ち向かってまいります。

厚木市農業協同組合
代表理事組合長 大貫（おおぬき） 盛雄（もりお）

対話に基づく自己改革の実践と持続可能な地域農業の確立

あけましておめでとうございます。

皆さまには、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申しあげます。平素から組合員の皆さまには、JAの事業活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、JAを取り巻く環境は、農業生産資材価格の高止まりや、記録的な猛暑による農作物の生育不良など、地域農業を脅かす懸念材料が少なくありません。さらに、世界情勢の急変により食料安全保障への関心が高まる中、「食料・農業・農村基本法」の見直しが本格化し、食料安定供給の実現や適正な価格形成など、国内農業の在るべき姿についての議論が進んでいます。また、資源価格の高騰や不安定な為替相場を背景とした物価上昇、日銀の大規模金融緩和政策の修正による経営への影響など、社会・経済面についての先行きは依然として不透明な状況です。

このような中、令和5年7月に設立60周年を迎えたJAあつぎは、厚木市都市農業支援センターとの連携を一層強化し、各地区の営農指導員等による相談機能の強化を図ることで、組合員が安心して農業に取り組むことのできる環境づくりを進めてきました。令和6年は、営農に係る課題を解決し持続可能な地域農業を確立するため、厚木市三田に「営農経済センター」を新設します。同センターには、厚木秦野道路建設に伴い同市及川からグリーンセンターを移転し、農畜産物や生産資材の販売拠点とするとともに、水稲作業における乾燥・もみすり・調整時の粉じんや騒音問題を軽減するため、ライスセンターを新設いたします。令和6年5月のオープンに向けて準備を進めておりますので、ぜひご期待いただくとともに、完成後の積極的なご利用をお願い申しあげます。

組織基盤の強化に向けては、地区運営委員会や協同活動推進委員会と連携した組合員・地域住民とのつながりをさらに強める活動を展開するとともに、生産組合をはじめとする組合員組織への各種支援を続けてまいります。さらに、支所店を中心とした魅力ある事業活動の展開によって、総合事業の機能を最大限に発揮し、JAの役割を誠実に果たすことで、組合員の満足度向上から事業利用につなげ、経営基盤の強化に取り組んでいきます。自己改革については、組合員との徹底した対話に基づいて策定・実践・進捗管理する「自己改革実践サイクル」に基づき、さらなる深化に取り組んでまいります。

今後もJAあつぎが「農業を軸とする地域に根ざした協同組合」として皆さまと共に歩み続けるため、一層の組織・事業・経営基盤強化と地域の活性化に尽力することで、組合理念の実現に結び付けてまいります。

末尾となりますが、組合員の皆さまのご健勝とご多幸を祈念申しあげ、新年のあいさつといたします。

組合員組織の代表者に今年の抱負を聞きました

JAあつぎ
生産組合長会
会長
内海（うちうみ） 則行（のりゆき）さん

生産組合

農業や暮らしを通じた組合員同士のつながりにより、明るく元気な地域づくりに向けて活動を展開しています。

JAあつぎ
女性部協議会
会長
桂（かつら） 壽美江（すみえ）さん

女性部

食や農、暮らしに関心のある女性が集まり、健康で心豊かな生活を送るため、多岐にわたる活動を展開しています。

JAあつぎ
青壮年部
部長
鈴木（すずき） 貴（たかし）さん

青壮年部

若手農家が集まり、助け合いながら、より良い地域農業の実現に向けた取り組みを展開しています。

①昨年の活動を振り返って　②今年の活動抱負　③最後に一言メッセージ

①生産組合の大切さを伝えるために

昨年は、令和4年に引き続き「生産組合の大切さ」を伝えるメッセージを添えたヒマワリの種子を全生産組合員へ配付するとともに、趣旨に賛同し、地域にヒマワリ畑を作る団体を支援するなど、「ヒマワリを咲かせる活動」を実施しました。その結果、13カ所にて活動を実施いただき、地域に根ざす生産組合を広くPRすることができました。

②農と暮らし、地域の絆を次代へ

農業を軸とした地域の絆を紡ぎ、地域に住む人々の暮らしを支えてきた生産組合ですが、組合員数の減少や活動意欲の減退など、生産組合ごとにさまざまな課題に直面しています。ヒマワリを咲かせる活動の継続など、協同活動の推進を通じて、人と人とのつながりをより強く構築するとともに、その絆を次代へ継承できるよう、JAとの連携を図りつつ、積極的に取り組んでまいります。

③地域農業の維持・発展を目指して

私たち農業者は持続的な農業経営を目指すとともに、地域の食を支える使命があると考えます。協同活動を通じて人と人とのつながりを大切にしながら、共に地域農業と地域社会を盛り上げ、明るい未来へ歩みを進めてまいります。

①制限の緩和に伴い活動が活発化

昨年は、「さいかい」に恵まれた年でした。コロナ禍でさまざまな活動が制限されていましたが、4年ぶりに「再開」した盆踊りなどの協同活動を通じて、部員同士の「再会」を大いに喜び合いました。また、親睦旅行や農業まつりにおける料理の振る舞いなど、活発で魅力的な活動を展開することができ、笑顔があふれる年となったことを大変うれしく思います。

②仲間づくりと魅力ある活動を展開

今年は、日頃の練習の成果を発揮する場として「目的別・趣味別グループ」の発表会を開催します。これからも幅広い年代が一堂に会することのできる、魅力ある活動を展開していきたいと思います。また、女性部に興味がある方が気軽に活動を体験できるよう、昨年より体験入部制度「ふれあい体験」を開始しました。引き続き、新たな仲間づくりへ積極的に取り組んでまいります。

③人と人とのつながりを大切に

コロナ禍を経て人と人とのつながりの大切さを再認識しています。私たち女性部は、部員のニーズに合わせた活動を展開し、満足度の向上と地域の活性化を図っています。女性組合員の皆さん、ぜひ一緒に活動していきましょう。

①地域農業のPR活動に注力

昨年は、部員が生産する農畜産物を使ったレトルト食品「JAあつぎ青壮年部カレー」の開発や、米の食味を競う「KOME-1グランプリ」の開催など、地域農業のPR活動に注力しました。また、インターネットを活用したコミュニケーションの円滑化など、組織運営の改革に取り組みながら、支部ごとに地区の特色を生かしたイベントを展開しました。

②人と人との輪を積極的に広げる

今年は、「ときめき活動」をテーマに、婚活事業をはじめ、他JA青壮年部との懇親や外部視察の再開を通じて、人と人との輪を積極的に広げていくとともに、引き続き「JAあつぎ青壮年部カレー」のPRを通じ、地域農業の活性化につなげていきます。また、厚木市制70周年記念事業への積極的な参画をはじめとした、行政や関連団体との連携強化により、組織活動の周知と、地域との共存を図ってまいります。

③経営を第一に主体性ある活動を

厳しさを増す近年の農業情勢に部員間で協力して対応し、青年農業者として経営の安定化を目指すことを第一に、これまでの青壮年部活動を踏襲しながら、斬新かつ主体性を持った取り組みを展開できるよう、活動に励んでまいります。

特集

農業でつながる笑顔の輪

～明るい未来を願って～

11月3日を皮切りに、管内8会場で各地区農業まつり、11月25日には厚木市農業まつり畜産祭・収穫祭が開かれました。実りの秋を祝い、各会場では生産者が持ち寄った新鮮な野菜や果物、花や植木などの即売を実施。協同活動を通じて組合員相互の連携を深めるとともに、地域住民に地域農業の魅力をPRしました。さらに、今年はJAあつぎ60周年・厚農商事（株）50周年を迎え、皆さまに感謝の気持ちを込めて、さまざまな取り組みも実施しました。

第53回 厚木市農業まつり畜産祭・収穫祭

展示・相談
パネルや作品展示、健康相談などが充実！

農産物品評会
生産者が丹精込めて育てた地場農産物がズラリ！

飲食コーナー
地場産の米や豚肉、カレーなどをお届け！

各地区農業まつり

11/19(日) 玉川地区

▲生産者の自信作が並ぶ農産物品評会

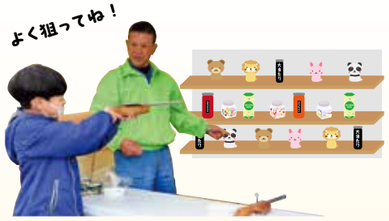
11/12(日) 小鮎地区

▲4年ぶりに中央農業高等学校が出店

11/19(日) 睦合地区

▲ステージでは歌や太鼓演奏を披露

11/12(日) 荻野地区



▲地場野菜や花苗の無料配布は大賑わい

11/12(日) 依知地区

▲色鮮やかな作品が並ぶ女性部作品展

バルーンリリース

「これからも地域とともに夢ある未来へ歩みを進めていく」という思いを込めた風船が、大空を彩りました♪

JAあつぎ60周年・厚農商事（株）50周年

特別イベント

感謝の気持ちを込めさまざまな取り組みを実施！

チャリティー抽選会

写真コンテスト 作品展・表彰式

販売コーナー

地場農産物や食料品、加工品などがズラリ！

大盛況の女性部バザー

親子夢未Kidsスクール生が育てたもち米を販売！

問題です！

上手にすくえるかな？

体　験

米のつかみ取りや食農クイズなどを実施！

11/3（金） 清川地区

▲特産品の「清川恵水ポーク」が登場

11/12（日） 相川地区

▲手芸やゲームなどの体験コーナーも充実

11/12（日） 南毛利地区

▲新鮮な地場野菜などが並ぶ農産物販売コーナー

各地区農業まつり

品評会表彰

①厚木市長賞
②厚木市農業委員会会長賞
③厚木市農業協同組合代表理事組合長賞
④地区生産組合長会会長賞
※順不同・敬称略

【第46回依知地区】

優等賞
倉田　隆義①
河輪　正己②
梅澤　光③
藤野美江子③
片倉　清勝④
古性八千代
大野　延男
甘利　明彦
萩原　克則
座本　忠明

柿
サツマイモ
ニンジン
みそ
キウイフルーツ
コンニャク
ユズ
ミカン
サトイモ
柿

【第47回荻野地区】

優等賞
神崎　勝之①
小嶋　幸雄②
花上茂安規③
土屋　　要③
田口　　昭③
田口　　昭
（荻野支所長賞）
三栖　定男
（荻野支所長賞）
難波テツ子
（荻野支所長賞）

ショウガ
ハクサイ
柿
サトイモ
キュウリ
キウイフルーツ
ユズ

サツマイモ

【第46回睦合地区】

優等賞
小池　敏夫①
小宮　光威②

ダイコン
柿

【第46回小鮎地区】

優等賞
森　　正和②
長澤　勝彦③
伊藤　梅夫④
石川　享子
大久保春樹
守屋　　悟
永島　忠雄
井上みどり
伊藤　梅夫
長澤　勝彦
苅邊　智美

ショウガ
サトイモ
柿
ネギ
サトイモ
かんきつ類
サトイモ
サツマイモ
柿
キウイフルーツ
カブ
ジャム

【第49回玉川支所】

優等賞
三橋　文代①
半谷　春美②
高橋　節子③
三橋　都子③
三橋　勝紀
中村　良一
髙橋　一憲
石川　和男

柿
ダイコン
ショウガ
イチゴジャム
サツマイモ
サトイモ
キャベツ
キウイフルーツ

【第48回南毛利地区】

優等賞
浅岡　清二①
髙澤美代子②
伊藤　久美③
新藤　昌子③
伊藤　洋文

サツマイモ
柿
ダイコン
白ウリかす漬け
キャベツ

鈴木　欽之③
小池　好子③
栗原　富栄④
圓子　清美④
山口　定慧
（睦合支所長賞）
小川　芳樹
（北支店長賞）

ショウガ
梅干し
サツマイモ
つくだ煮類
ミカン

ブロッコリー

【第46回相川地区】

優等賞
池谷　栄一①
大村　太一②
池谷　栄一③
加藤　笑子③
加藤　悟

キャベツ
バラ
ダイコン
梅干し
柿

（農業まつり実行委員長賞）
堀池　篤
髙橋　修
毛利　豊治
池谷かおる
鈴木八重子
和田サカエ
清田　修一
大貫　浩一
内海　則行
内田　博子

トマト
キウイフルーツ
カリフラワー
サトイモ
ジャム
ダイコン
キャベツ
キュウリ
ダイコン
ブロッコリー

キウイフルーツ　髙澤富美子

厚木市農業まつり 畜産祭・収穫祭

農産物品評会　優等賞

【依知】藤岡ふみ子③
【依知】古性　明美
【玉川】三橋　舜
【睦合】栗原　富栄②
【荻野】田口　昭②
【荻野】髙橋　修一
（神奈川県知事賞）
【玉川】金子　久輝

ネギ
ジャガイモ
（県央地区農業委員会連合会会長賞）
キウイフルーツ
ピーマン

サツマイモ
ミカン
（全国農業協同組合連合会
神奈川県本部運営委員会長賞）
ユズ

【相川】加藤　悟①
【相川】加藤　暁子①
【相川】大貫　勝男③
【相川】大貫千代子
【相川】池谷かおる

柿
梅干し
柿
キャベツ
サトイモ

（全国農業協同組合連合会
神奈川県本部運営委員会長賞）
【南毛利】伊藤　直文③
【南毛利】伊藤　洋文
（神奈川県知事賞）
【南毛利】井上　仁
（神奈川県農業会議会長賞）
【相川】内田　博子
（全国農業協同組合連合会
神奈川県本部運営委員会長賞）

ニンジン
ダイコン

花ユズ

ブロッコリー

（全国農業協同組合連合会
神奈川県農業協同組合中央会長賞）
【相川】鈴木八重子
（神奈川県農業協同組合中央会長賞）
【相川】大貫　恵子
（県央地区農業委員会連合会会長賞）
【相川】杉山　幹夫
（厚木市議会議長賞）

ハクサイ
（JAあつぎ60周年・
厚農商事㈱50周年記念賞）
ジャム
かんきつ類
カーネーション

畜産祭共進会　優等賞

乳牛の部
経産牛8類　【荻野】曽根　隆①
（神奈川県農業会議会長賞）
育成牛4類　【荻野】曽根　隆③
（かながわ酪農業協同組合長賞）

東京農業大学へ米と豚肉を寄贈

資産運用の重要性を学ぶ部会員

会場には多くの組合員・役職員らが出席

管内の旬な情報をお届け！

グリーンニュース

Green News

JAあつぎホームページでも
最新トピックスを紹介しています。

https://www.ja-atsugi.or.jp/

箱根駅伝の活躍を地場産品で後押し

東京農業大学へ米と豚肉を寄贈

東京農業大学は、「第100回東京箱根間往復大学駅伝競走」の本選へ、10年ぶりに出場します。JAあつぎは12月5日、本選出場を祝すとともに、当日の活躍を祈念して、あつぎせせらぎ米60kgと豚肉50kgを寄贈しました。

大貫組合長は「厚木産の米と豚肉を食べて、体づくりに役立ててほしい。本選では、一人一人の力を結集し、大手町まで襷を運んでほしい」と期待を込めました。

同大学陸上競技部（男子長距離ブロック）の小指徹監督は「多くの人から応援され、支えられている実感が改めて湧いた。本選では粘り強く走り、シード権獲得を目指したい」と話しました。

資産形成の意識高める

資産保全部会「支部合同研修会」

資産保全部会は11月2日、「人生100年時代」の到来に備え、資産形成の重要性や効果的な運用方法を学ぼうと、「支部合同研修会」を開きました。

当日は、ヒューマネコンサルティング株式会社の阿部重利さんが講師を務め、投資信託やファンドラップなどの商品性を説明。景気の予測や令和6年1月から制度が改正される新NISAを利用する上での条件などを踏まえ、注目されている金融商品を紹介しました。

自己改革の実践を着実に

第76回神奈川県農業協同組合大会

伊勢原市民文化会館で11月29日、第76回神奈川県農業協同組合大会が開かれました。第74回大会で決議した3カ年における協同活動の指針の実践第2年度に当たり、実践経過を確認したほか、かながわ農業の振興や農業理解対策などの特別決議を行いました。また、JA運動の発展に尽くした組合員や役職員が表彰され、JAあつぎからは12人の組合員と7人の職員、かながわ酪農業協同組合から小鮎地区の山川宏司さんが表彰されました。

第74回大会決議実践経過報告では、「基本目標Ⅰ.かながわ農業と健康で豊かな暮らしを支える事業および活動の展開」における営農支援や販売戦略、担い手確保などの取り組みをはじめ、「基本目標Ⅱ.持続可能な協同組合としての組織基盤・経営基盤の確立と人づくり」における組織基盤の維持・活性化や、協同組合としての人づくり・職場づくりなど、組織一丸となった取り組みの実践状況について報告しました。

特別決議では、組合員・役職員が一体となり、JA自己改革の実践を通じて、組合員の農業所得を高める営農支援や販売力の強化に取り組むことを確認。地域の実情に即した農業への理解と参画を促すことも共有しました。

特別講演では、農業ジャーナリストで明治大学農学部の榊田みどり客員教授が「持続可能な農業の実現に向けて」と題し、共感やつながりをキーワードに話しました。

店舗運営の充実へ意識統一を

夢未市・グリーンセンター出荷者大会

JAあつぎは11月1日、地場産率のさらなる向上と、生産者の出荷意欲促進を目的に、「夢未市・グリーンセンター出荷者大会」を開きました。

大会内では、令和4年度の売上金額100万円以上の生産者を表彰したほか、令和6年5月に移転を予定しているグリーンセンターの概要説明、今後の出荷拡大に向けた特別講演などを実施。両店舗における事業報告・事業計画についても確認するなど、今後の積極的な店舗運営に向け、出荷者・JAの情報共有を図りました。

一体となった活動展開を呼び掛ける大貫組合長

農業まつりで厚木産米のおいしさを伝える部員

若手農家が米の食味競う

青壮年部「KOME-1グランプリ」

青壮年部は、生産技術の向上と組織活動の認知度向上を目的に、部員の生産した令和5年産米の食味を競う「KOME-1グランプリ」を初めて開催しました。審査は食味計による成分測定と、実食による官能検査の2段階に分けて実施。合計点でグランプリを決定しました。

上位3人の米は、「第53回厚木市農業まつり畜産祭・収穫祭」で提供。部員が生産する野菜や豚肉を使って商品化した「JAあつぎ青壮年部カレー」と合わせて来場者に振る舞い、取り組みをPRしました。

中央会長表彰

組合員（順不同・敬称略）

井上 聡子（いのうえ さとこ）
小鮎地区

柏木 公平（かしわぎ こうへい）
睦合地区

城所 春彦（きどころ はるひこ）
睦合地区

小野 勝明（おの かつあき）
荻野地区

岸 照雄（きし てるお）
荻野地区

井上 喜充（いのうえ よしみつ）
依知地区

山口 進（やまぐち すすむ）
清川地区

大貫 昌子（おおぬき まさこ）
相川地区

小泉 政夫（こいずみ まさお）
南毛利地区

江藤 敏男（えとう としお）
南毛利地区

中山 博方（なかやま ひろのり）
玉川地区

中村 孝明（なかむら たかあき）
玉川地区

職員

井上 通（いのうえ とおる）
依知支所経済課長

鈴木 健二（すずき けんじ）
荻野支所業務課長

井上 敦夫（いのうえ あつお）
愛甲支店業務課長

倉田 慎二郎（くらた しんじろう）
荻野支所
総合相談課係長

大村 悦章（おおむら えつあき）
睦合支所
総合相談課係長
（厚農商事㈱出向）

服部 正行（はっとり まさゆき）
厚農商事㈱
賃貸管理課係長

服部 允（はっとり まこと）
総合相談部
総合相談課係長

かながわ農業の振興に関する特別決議

管内の旬な情報をお届け！

グリーンニュース Green News

米袋を使ってオリジナルのエコバッグを作るスクール生

親子で学ぶスクールが修了を迎える
第14期親子夢未Kidsスクール

管内の小学生親子を対象とした「親子夢未Kidsスクール」が12月2日、修了を迎えました。

当日は、最後のカリキュラムとして、同スクールで育てたもち米を使って餅つきを実施。米袋のエコバッグ作りやクイズ大会、意見交換会も行うなど、食と農への学びを深めました。

閉校式では、一人一人に修了証書を手渡し、映像を視聴しながら今年度の取り組みを振り返りました。

参加者親子は「地域農業を学べたことで、より地元に愛着が湧いた。今後も地産地消を意識していきたい」と話しました。

園児らに花きを手渡す部会代表者

花を育み健やかな成長を
清川地区「花の植栽事業」

清川支所生産組合長会は11月10日、清川村煤ヶ谷にある「あおぞら保育園」と「村立清川幼稚園」を訪問し、地場産の花きを寄贈しました。この取り組みは、花の育成を通じて、思いやりの精神や美しさを感じる心を育んでもらおうと、毎年実施しています。

当日は、同会の代表者がビオラやストック、パンジーなど、合計400鉢を園児に手渡し、花の名前や特徴、管理方法などを伝えました。園児は、色とりどりの花に顔をほころばせ、花きの生育に期待を寄せました。

11月3日　荻野地区
親子イモ掘り体験

10月31日　小鮎地区
厚木ふじの花保育園サツマイモ堀り体験

11月11日　玉川地区
准組合員向けサツマイモ堀り体験

10月31日　相川地区
相川保育所サツマイモ堀り体験

Photoトピック

各地区「サツマイモ掘り体験」

収獲の秋を迎えた9月から11月にかけ、JAあつぎ管内では、組合員や地域住民、近隣の教育機関を対象に、サツマイモ堀り体験が開かれました。各取り組みでは、食と農に触れる機会を創出し、地域農業のファンを増やすと共に、地産地消への理解促進を図っています。

当日は、今年の生育状況や貯蔵方法を学びながら、収穫の喜びを分かち合いました。

シクラメンの管理方法を伝える営農技術顧問

厚木産シクラメン消費拡大へ
育て方講習会・夢未市特別販売

JAあつぎ管内のシクラメン農家では、12月に出荷最盛期を迎えました。今年は、夏の高温や長期間続いた暑さで、生育の遅れが懸念されましたが、遮光カーテンを活用した日よけや、扇風機での空気循環など、各農家で対策に努めたことで品質良く仕上がりました。

12月2日と3日の2日間は、「夢未市」で特別販売が行われ、店頭には生産者も立ち、品種の特徴や花を長く楽しむためのコツなどを教えながら対面販売しました。

12月1日には、准組合員を対象とした「シクラメンと冬の鉢花の育て方講習会」をJA本所で開催。営農技術顧問がシクラメンやパンジー、ビオラなどの栽培方法や、冬を越すための管理について紹介しました。講義後は、学んだ知識や技術を自宅で実践してもらおうと、参加者に厚木産シクラメンをプレゼントしました。

生産者の佐々木潤一さんは「彩り豊かな花で、明るい気持ちで新年を迎えてほしい。厳しい環境が続くが、地域農業を応援してもらえたらうれしい」と話しました。

色とりどりのシクラメンが並んだ夢未市での特別販売

運動を通じ交流の輪広げる
次世代部「Neo健康フェスティバル」

次世代部は11月13日、健康寿命100歳プロジェクトの一環として、健康増進を図りながら部員相互の親睦を深めようと「Neo健康フェスティバル」を開き、16人が参加しました。

当日は、2チームの対抗戦で、5つのレクリエーションを実施。フリスビーを使用して行うドッジボール形式のゲーム「ドッヂビー」や、リレー形式で衣装を着せる速さを競う「仮装競争」など、競技を通じた交流を楽しみました。この他、女性部が作った「JAあつぎゆめみちゃん音頭」を踊り、絆を深めました。

「仮装競争」を行う部員

レクリエーションを楽しむ参加者

笑顔あふれる豊かな生活を
すずしろいきいきクラブ

助け合い活動すずしろは、高齢者福祉活動を通じた地域貢献の一環として、地域に住む高齢者の健康で心豊かな生活をサポートしようと、11月16日から12月12日にかけて、6地区で「すずしろいきいきクラブ（ミニデイサービス）」を開催しました。

当日は、体操や工作、ゲームなど、高齢者が安心して楽しめるレクリエーションを実施。参加者からは「地域の人と一緒に取り組める内容が多くて楽しい」と声が上がるなど、交流を深めながら笑顔あふれる時間を過ごしました。

家 庭菜園

Let's trial

菜園の土壌管理 野菜の種類に合わせた土作り

家庭菜園では多くの種類を栽培しますので、それぞれの特性に合わせた土壌管理が必要です。

連作と輪作

同じ土地に同じ野菜を連続して作ることを連作といいます。しかし、連作すると成長に障害が出る野菜があります。連作障害の原因は多様ですが、病害によるものが最も多く、次いで土壌の悪化によるものとなっています。

エンドウは一度作ると、7年は作れません。トマト、ゴボウなどは5～6年、インゲンマメ、サトイモなどは3～4年、キュウリ、ホウレンソウなどは1～2年です。カボチャ、タマネギ、サツマイモのように連作しても障害の出にくい野菜もあります（表1）。

同じ科に属する近縁な野菜は似た性質を持っているため、病害虫と肥料の吸収が共通しています。そのため、連作すると土に生息する病害虫が増え、微量でも必要な肥料成分が不足して成長を妨げることがあります。

そのため特性の異なる野菜を上手に組み合わせた一定の順序で作付け（輪作）をしましょう。

表1　野菜の休栽年数

連作障害の出にくい野菜		カボチャ、タマネギ、ニンニク、サツマイモ
休栽年数（目安）	1~2年	キュウリ、ネギ、ホウレンソウ、ラッカセイ、ジャガイモ
	3~4年	インゲンマメ、サトイモ、ナガイモ
	5~6年	トマト、ハクサイ、ゴボウ
	7年以上	スイカ、ナス、エンドウ

平野暁「作物の連作障害」（農文協、1985年）より引用、一部改変

野菜の適性酸度

雨が多い日本はカルシウム（石灰）やマグネシウム（苦土）が流れやすく、酸性土になりがちです。野菜の生育に適した弱酸性（pH6.0～6.5）とするためにカルシウムとマグネシウムを含む石灰資材を投入します。酸性土が改良されると土壌微生物の働きが活発となって、有機物の分解を早める効果もあります。

野菜の種類によっては酸性を好むものもあり、野菜の種類に適した酸度（pH）に調整することが大切です。ジャガイモ、スイカはpH5.0～5.5でよく育ちます。一方、ホウレンソウ、タマネギは特に酸性に弱く、発芽してもしばらくすると枯れてしまいます（表2）。酸性土壌ではアルミニウムイオンが溶け出し、ホウレンソウなどの根を阻害するからと考えられています。

表2　酸性に強い野菜と弱い野菜（例）

種　類	酸性への適応性	pH（目安）
スイカ、ジャガイモなど	酸性に強い	5.0~5.5
インゲンマメ、スイートコーン、ダイコン、サツマイモ、サトイモなど	酸性にやや強い	5.5~6.0
キュウリ、トマト、ナス、エンドウ、キャベツ、ブロッコリー、ニンジンなど	酸性にやや弱い	5.5~6.5
ホウレンソウ、アスパラガス、タマネギ、ゴボウなど	酸性に弱い	6.0~7.0

藤原ら「新版土壌肥料用語辞典」（農文協、1988年）などより作成

酸性土壌の矯正

土の酸度を調べる診断キット（図1）や、土に直接差し込んで測定する土壌酸度測定器があります。石灰資材を過剰に与えると微量要素の吸収を妨げる恐れがあるため、測定値に応じた石灰資材を施します。施用量は土壌の種類によって異なりますが、一般的にpHを1上げるには粒状の苦土石灰では1平方m当たり150～200gです。なお、石灰資材は窒素肥料や窒素分の多い堆肥と一緒に施すと、アンモニアガスが発生し、窒素分が逃げてしまいます。そのため石灰資材と窒素肥料を同時に与えてはいけません。種まきや植え付け2週間前に石灰資材をまいてよく土と混ぜておき、1週間前に化成肥料と堆肥を施用します。

図1　土壌診断キット

園芸研究家　成松次郎（なりまつじろう）

神奈川県農業技術センター等で野菜の研究と技術指導に従事後、（一社）日本施設園芸協会で施設園芸及び加工・業務用野菜の生産・流通振興に携わる。現在、園芸研究家。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています

あぐりスポット
農業のお役　立ち情報をお　届け!

Let's trial

営 農通信

果樹の手入れ「剪定」

多くの果樹が休眠期を迎える冬は、剪定に適した季節。良質な果実を実らせ、果樹の成長を促進するためには、剪定作業を行って樹形を整えることが重要です。今回は、剪定の基本や、それぞれの果樹に合った剪定時期について紹介します。

私がご紹介します

営農指導員（依知支所）
鈴木（すずき）　泰裕（やすひろ）

剪定の目的

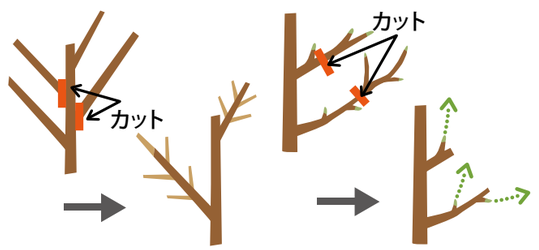
剪定とは、果樹や野菜（果菜類）などの枝の先端を切ることや、不要な枝を根本から切り取って樹形を整える作業です。開花・着果の促進をはじめ、花芽や実を安定して着けるために必要な作業で、毎年適度に剪定を行わないと、日当たりや風通しが悪くなり、病害虫の発生にもつながります。

剪定の基本

剪定には、大きく分けて「間引き剪定」と「切り詰め剪定」があります。

間引き剪定は、枝を間引くことによって日当たりや風通しを良くするために行うものです。混み合った枝を幹部から切り取って、枝数を減らします。

切り詰め剪定は、長すぎる枝を枝先から短く切り詰める剪定のことです。枝の先を切り詰めることで、切った部分から新しい枝が出てきます。果樹は新しく出た枝に花芽が出やすい性質があるため、着果率が向上します。



間引き剪定の例　　切り詰め剪定の例

剪定に適した時期

梅や柿などの落葉果樹の剪定は、葉が落ちてから発芽するまでの休眠期に行います。蕾が膨らんでから剪定すると、蕾が欠け落ちてしまいます。ブドウやキウイフルーツは、2月以降に剪定すると、切り口から樹液が出て、樹勢が弱るので1月中に剪定しましょう。カンキツ類などの常緑果樹やイチジクは、寒さの和らいだ3月に行います。

■剪定時期の目安

適　期	果　樹
12月~1月	ブドウ・キウイフルーツなど
12月~2月	梅・柿・ブルーベリーなど
3月	カンキツ類・イチジクなど

切り口を守る「癒合剤」

果樹の枝を切った場合、切り口がふさがるまでに水分や養分が流出してしまいます。これを防ぐため、切り口を保護する植物の傷薬が「癒合剤」です。また、切り口から入ってくる雑菌などの侵入を防ぐ役割もあります。果樹を健全に育成するために、積極的に活用しましょう。

代表的な癒合剤

トップジンMペースト

樹木の切り口を保護・治癒するペースト状の薬剤です。剪定時の切り口などに塗布すると、有効成分が殺菌保護被膜を形成。樹液の流出や、雨水・雑菌などの侵入を防ぎ、病害の感染を防止します。

200g 745円（税込）

1kg 2,516円（税込）

※グリーンセンターにおける販売価格（発行日現在）

●詳しくは、各地区の営農指導員または指導販売部（担当：営農指導課）　☎221-2273までお問い合わせください

お役立ち情報をお届け

税のはなし NO.60

確定申告における個人事業主の「家事按分」

Q1 個人事業主の「家事按分」とは何ですか？

A1 個人事業主が、自宅を事務所として利用している場合、家賃や水道光熱費などの費用は、事業に利用する分と生活に利用する分が混在している状態にあります。これを「家事関連費」といい、その中から事業費を計算し、経費に算入することを「家事按分」といいます。

Q2 家事関連費には、どのようなものがありますか？

A2 家賃や水道光熱費のほか固定資産税、電話代、火災保険料、自動車関連費用などが挙げられます。ただし、以下の通り、所得税法において条件が定められており、そのいずれかを満たしている場合に経費に算入することができます。

【家事按分の条件（所得税法施行令より抜粋）】

・家事関連費の主たる部分（50%以上）が業務の遂行上必要であり、かつその費用のうち事業利用部分を明らかに区分することができる場合
・青色申告の場合は、業務の遂行上直接必要であったことが取引の記録などで明らかな場合

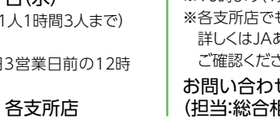
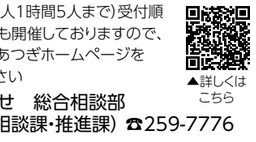
Q3 青色申告者と白色申告者で違いはありますか？

A3 上記の通り法令上は、家事関連費の内、事業のための支出が50%以下であっても家事按分が認められるのは青色申告者のみとされています。しかし、実際に家事按分の可否を判断している国税庁は、判断基準として青色申告者か白色申告者かに基づく違いを示していません。国税庁は、家事関連費の内、事業に利用する分が50%を上回るかに関わらず、計算の根拠を示すことを求めており、これは青色申告者も白色申告者も同様です。つまり実務上は、50%を下回っていても、申告方法に関わらず、家事按分を行うことができます。

Q4 家賃はどのように家事按分するのですか？

A4 事務所を兼ねている自宅が賃貸住宅などで、毎月家賃を払っている場合、一部を経費に算入することができます。家賃を家事按分する方法は、①事業で使用している面積の割合から求める方法と、②事業で使用している時間の割合から求める方法の2種類があります。

【家賃を家事按分する場合の計算例】

自宅の面積40m²のうち仕事で使用する部分が10m²の場合	自宅を仕事で使用する時間が8時間の場合
	 1ヶ月の仕事時間 8時間×20日＝160時間
家賃10万円×使用面積 10m²/40m² ＝2万5,000円	家賃10万円×使用時間 160時間/744時間[24時間×31日] ＝2万1,505円

Q5 必ず経費に算入しなければならないのですか？

A5 算入しない年があっても問題ありません。事業に利用した分が少額である場合や、計算根拠・取引の記録を整備する手間をかけたくない場合などは、家事按分を行わないことも可能です。また、使用する回数や面積など、割合を明確にできる記録などがあれば、月ごとに家事按分の割合を変更することも可能です。

詳しくはお近くのJAまでご相談ください。

困りごとはJAへ 事前予約制 無料相談会のお知らせ

日時等は変更になる場合がありますので、詳細については、担当部署もしくは最寄りの支所店へお問い合わせください。

法務相談

各種法律に関する相談についてお受けしています。
会　場　JAあつぎ本所3階「相談室303」
相談員　高橋暁子顧問弁護士
日　程　1月10日(水)　1月22日(月)
　　2月　5日(月)　2月20日(火)
※9時30分より(1人30分5人まで)受付順
お問い合わせ　各支所店または総合相談部(担当:総合相談課) ☎259-7776

税務相談

所得税・相続税など税に関する相談についてお受けしています。
会　場　JAあつぎ本所3階「相談室303」
相談員　JAあつぎ契約税理士
日　程　1月10日(水)
　　2月　7日(水)
※13時30分より(1人1時間3人まで)受付順
※ご予約は相談日3営業日前の12時まで
お問い合わせ　各支所店

くらしによりそう総合相談会

相続遺言・民事信託、資産形成、ローン、保障見直し、葬儀、不動産活用などに関する相談についてお受けしています。
会　場　JAあつぎ本所
相談員　JAあつぎ職員
日　程　1月27日(土)
※10時より(1人1時間5人まで)受付順
※各支所店でも開催しておりますので、詳しくはJAあつぎホームページをご確認ください
▲詳しくはこちら
お問い合わせ　総合相談部(担当:総合相談課・推進課) ☎259-7776

新鮮で安全・安心な農畜産物を食卓へお届けし、皆さまに食と農の大切さをお伝えします。

夢未市・グリーンセンター Yumemiichi かわら版 Greencenter

▲夢未市のイベントカレンダーは、こちらをご覧ください。

夢未市・グリーンセンターイベント情報

2024 新春初売りのお知らせ

夢未市 9時30分から　1/5(金)　グリーンセンター 9時から

日頃より、夢未市・グリーンセンターをご利用いただきありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。両店舗とも1月5日（金）より営業を開始し、初売りに合わせて毎年ご好評をいただいております「野菜の福袋」もご用意しています。ぜひご来店ください。

数量限定　野菜の福袋販売
1,000円相当の農産物の福袋を500円(税込)で販売
※なくなり次第終了

夢未市のおすすめ

リニューアルした弁当・総菜が好評

夢未市は、店内に加工室を設け、弁当や総菜を製造しています。令和5年10月からはラインナップをリニューアルし、「地場産食材が輝く」をテーマとした弁当・総菜に一新しました。

メニューに使う食材は、地場産の豚肉・野菜・米を主軸とし、特産品や旬の食材を全面に打ち出すほか、各食材の食べ方を提案することで、生鮮での販売強化にもつなげています。現在は「豚肉と野菜のグリル重」や「野菜のあられかき揚げ丼」などの弁当、「メンチカツ」や「トマトのフリッタータ」などの総菜、合わせて約20種類ほどのレパートリーがあり、店頭には約15種類の計140食が毎日並びます。また、商品名や特徴、こだわり、使われる地場産食材が明記されたカードも設置。定期的に売り場の更新を行うことで、季節感なども演出し、販売強化につなげています。

ぜひ地場産食材たっぷりの商品を味わってみてください。

グリーンセンターのおすすめ

カルシウム葉面散布剤「カルタス」

今回紹介する「カルタス」は、作物にカルシウムを補給する液体肥料です。カルシウムは、乾燥による根の傷みや窒素過多による肥料バランスの崩れなどから、欠乏症を起こしやすい栄養素。カルタスを成長点に直接散布することで、葉菜類の芯腐れやネギの葉先枯れなどを防止します。詳しくは店舗にてお気軽にお声掛けください。

価格：1kg 1,823円(税込)

夢未市宅配サービス

新鮮な農産物の詰め合わせをご自宅までお届け♪
ゆめみちゃんボックス 3,000円(税込) ご注文受付中!
ご注文は指導販売部(担当:総合販売課) ☎221-2273
※ご注文の詳細については、JAあつぎホームページをご覧ください

休業日・営業日時のお知らせ

夢未市
厚木市温水255
☎290-0141
9時30分～17時
(ジェラートコーナーは10時～16時)
休業日
1月1日(月)～4日(木)
1月5日(金)より営業
毎月第3水曜日
(3月・9月は第2水曜日、1月・8月・12月は除く)

グリーンセンター
厚木市及川1161-1
☎241-6150
9時～17時
(精米機は9時～16時30分)
休業日
12月31日(日)～1月4日(木)
1月5日(金)より営業
毎月第2水曜日
(1月・5月は除く)
※巡回指導時を除き、JA営農技術顧問が常駐

グリーンセンター講習会のご案内

2月22日(木) 初心者向け
肥料の成分や使用方法を学ぼう
上手な肥料の使い方
開催場所：グリーンセンター
開催時間：①10時～11時
　　②15時～16時
募集人員：各回15人(合計30人)先着順
参 加 費：無料
申 込 先：指導販売部(担当：総合販売課) ☎221-2273
※暖かい服装でお越しください

あつぎ ゆめ散歩

下津古久・戸田 相川地区 旬の農産物と歴史を巡る

今回は、厚木市の南部に位置する下津古久と戸田を巡ります。水稲や果樹の生産が盛んなこの地域では、季節によって移り替わる田園風景が魅力の一つ。空気の澄む冬には、雄大な富士山や大山がより美しく望めるほか、特産品であるイチゴを新鮮なまま味わえるイチゴ狩りがスタートします。訪れる際はぜひイチゴ狩りを予約し、散策とともに楽しんでみてはいかがでしょうか。

① 厚木観光いちご狩り巡り

完熟の甘みとみずみずしさが特徴の厚木産イチゴ。1月からは、「厚木観光いちご狩り組合」に所属する生産者の農園でイチゴ狩りがスタートします。さまざまな品種が栽培されているので、採れたてを味わいながら、お気に入りのイチゴを探してみてください。

※必ずご予約の上、ご来園ください　※品種や営業時間は発行日現在のもので、時期・生育状況などにより異なる場合がございます

A 内海（うちうみ）いちご園

栽培方法　高設栽培

主な品種　かおり野、よつぼし、かなこまち　など

予約方法　ホームページまたは電話

厚木市下津古久696　046-228-6967
9時45分～11時45分（最終受付:11時15分）　休 月曜日・火曜日

▲ホームページはこちら

B わだいちご園

栽培方法　土耕栽培

主な品種　豊姫

予約方法　電話

平塚市大神216-1　046-229-3415
10時～15時　休 不定休

▲ホームページはこちら

C 杉山（すぎやま）いちご園

栽培方法　高設栽培

主な品種　よつぼし、ほしうらら、かなこまち　など

予約方法　電話または「じゃらん」でのネット予約

厚木市戸田1822　090-5213-0922
9時30分～15時30分（最終受付:15時）　休 不定休

▲「じゃらん」掲載ページ

D 清田（せいた）いちご園

栽培方法　高設栽培

主な品種　紅ほっぺ、章姫、恋みのり　など

予約方法　電話

厚木市戸田1759　046-228-6857
9時30分～15時　休 不定休

▲ホームページはこちら

② 大山道

かつて「柏尾通り大山道」と呼ばれた街道に立つ道標。表には「右 戸田の舟渡」の文字があり、東に進むと相模川を渡る渡し船の発着所にたどり着きます。また、「左 ほしのや観音」は座間市にある「星谷寺（しょうこくじ）」を示しており、坂東観音霊場の道標でもあったとされています。

厚木市下津古久785付近

③ 御霊（ごりょう）神社

創建年代は不詳ですが、元治元年（1864年）に社殿が再建された記録が残っています。その後、昭和61年（1986年）に発生した大きな風雪害により鉄塔が倒壊し、この地域は多大な被害を受けましたが、復興に携わったことを機に受けた謝礼を有効に生かし、現在の社殿と鳥居の再建が行われました。

厚木市戸田653

住所　営業時間　ラストオーダー　電話番号　定休日
※営業時間等は変更となる可能性があります

散歩の合間に！ 簡単！エクササイズ 体を動かして毎日元気に！

今回ご紹介するのは、タオルなど身近にある物を使って、体の横（体側部）、両肩と背中上部の筋肉（広背筋）を伸ばす運動です。体のバランスを整え、血行を良くし、肩凝りの予防につながります。ぜひ実践してみてください。

タオルを両手で持ち上げ、ゆっくりと右に傾け、左体側部を伸ばします。

右体側部も伸ばします。2～3回繰り返しましょう。

タオルを両手で持ち、ゆっくりと頭上に持ち上げます。

タオルを頭の後方に下ろします。2～3回繰り返してください。

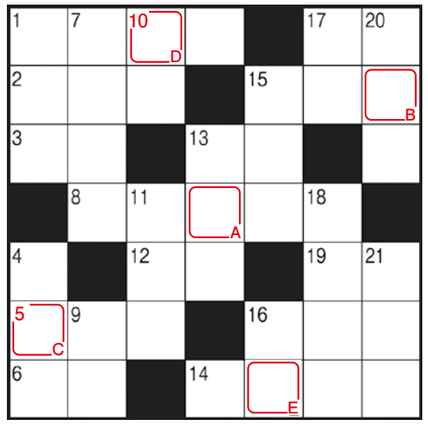
痛みが出る際は、無理せず中止しましょう。

PREZENT QUIZ クロスワード

パズルを解いて、キーワードをお答えください。

応募者の中から抽選で**5名様**に夢未市等で使える
商品券500円分をプレゼント!!

問題 二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



◆タテのカギ
1 大学入学共通テストの理科の科目の1つ
4 キウイやポンカンの生産量が日本一の県
7 エッセーともいいます
9 かつお節や昆布で取ります
10 ガラガラとうがいをして洗うもの
11 ゆでた麺をざるにあけて行います
13 大股の人は広めです
15 カメやカッパの背に付いています
16 ――や硯（すずり）を用意して書き初めをした
17 カラオケで楽しむもの
18 ――の計は元旦にあり
20 旧暦1月の異称
21 見張ること。――カメラ

◆ヨコのカギ
1 おせち料理にも使うニシンの卵巣の加工品
2 旅行前に――ブックを買った
3 俳人が名作を生み出した地に建てられていることも
5 北を向いたとき西になる方向
6 丁寧にいうとご飯です
8 横綱を先導して土俵に上がります
12 セイウチの口からにょっきり
13 農地――、道路交通――
14 DNAが含まれる体の設計図。――操作
15 猫が中で丸くなっているかも
16 不要物を可燃、――、資源ごみに分別した
17 彼女は――を言わせず彼を外に連れ出した
19 エレベーターの表示では「B」

答え
A［　］ B［　］ C［　］ D［　］ E［　］

■12月号クロスワードの答え：「シクラメン」

二次元コードを読み取るとホームページの応募フォームが表示されます。

※お寄せいただいた個人情報は、広報事業、賞品発送に利用するほか、個人を特定できない統計情報とした上で、マーケティング等に利用させていただきます

宛先 〒243-0004 厚木市水引2-9-2
JAあつぎ総合企画部グリーンアートあつぎクロスワード・お便りコーナー係宛

応募方法 ハガキまたはFAX、ホームページにて①クイズの答え②郵便番号・住所③氏名④電話番号⑤年齢⑥組合員資格区分「正組合員（家族含む）」「准組合員（家族含む）」⑦身近な話題やJA・情報誌に関するご意見・ご要望を記載しご応募ください。
■FAX　046-223-8814
■https://www.ja-atsugi.or.jp/form/greenart/
■締め切り　1月5日（金）

お便りコーナー

読者の皆さまからいただいたお声をご紹介します。絵手紙や写真の応募も大歓迎です。たくさんのお便りをお待ちしています。

✉本所で行われた農業まつりで生産者が販売するおいしい野菜をたくさん買いました。品評会会場前にあった地場農産物の宝船も見事でした。
（厚木市三田南 H さん）

ご来場いただきありがとうございます。6ページから始まる特集では、各地区で行われた農業まつりの模様も取り上げていますので、ぜひご覧ください。

✉新型コロナウイルスやインフルエンザが流行しているので、特集の「体を温める温活」を参考に、体調管理に気を付けたいと思います。
（厚木市妻田南 A さん）

寒さや乾燥など体調を崩しやすい気候が続きますね。これからも、季節に合った生活に役立つ記事をお届けするため、編集に努めていきます。

✉「営農通信」のイモ類の保存方法が参考になりました。この時期、サトイモやサツマイモをもらうことが多いので、試してみようと思います。
（厚木市飯山 Y さん）

参考にしていただきありがとうございます。これからも営農指導員や営農技術顧問の経験を生かした実践的な知識をお届けしていきます。

✉12月号も素敵な写真がいっぱいで楽しく読ませていただきました。子どもたちの写真などを、特に興味深く拝見しました。
（厚木市下荻野 S さん）

お読みいただきありがとうございます。皆さんがほっとするような写真や、農業の魅力を伝えられるような写真を届けられるよう、撮影に努めていきます。

他にもこんなお便りをいただきました！

✉本所で行われた農業まつりを訪れました。たくさんの人でにぎわう中、バルーンリリースで風船を飛ばしたのは良い思い出になりました。
（厚木市金田 Y さん）

✉年金友の会の旅行でミカン狩りに行きました。ポットで栽培された、背丈ほどの高さのミカンの木を初めて目にして、農業技術の進化を感じました。
（厚木市上荻野 T さん）

編集後記 新年あけましておめでとうございます。昨年は、取材へのご協力、また、当情報誌に多くのお声をいただきありがとうございました。JAあつぎの今年の漢字は「繋」となりました。広報の手法も多様化していますが、知識・技術を身に付け、レベルアップを図りながら、広報活動における「繋」という役割を果たしていきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。（吉川）

わが家Photo

厚木市飯山

馬場 紬ちゃん（8歳）
由多くん（5歳）
雅ちゃん（2歳）

父：俊一さん　母：悦子さん

とても仲良しな姿を見せてくれた3人。夏休みは、家族で北海道を訪れ、おいしいものを食べながらたくさんの思い出を作りました。お母さんの手料理では、カレーとネギたっぷりのチャーハンが好物だそうで、おじいちゃんが育てる野菜も大好きと笑顔で話します。

小学2年生の紬ちゃんは、ピアノと水泳を習っています。工作が好きで、弟や妹の面倒も見てくれるしっかり者のお姉さんです。幼稚園に通う由多くんは、サッカーを習っていて、お友だちと楽しくボールを蹴っています。最近は、鉄棒の練習も頑張っています。保育園に通う雅ちゃんは、おままごとが大好き。元気良く遊びながら楽しい園生活を送っています。

ご家族は「目標に向かって頑張れる子に育ってほしい」と話しました。これからも楽しい思い出をたくさん作ってね♪

組織ボイス

しゃきっと・Exer!!

仲間と楽しく体を整える

代表　三橋 都子さん

Q1 しゃきっと・Exer!!について教えてください。

毎日をシャキッと過ごすため、体の痛みや不調の改善に役立つストレッチ・エクササイズに取り組むグループです。玉川支所で開催した講習会をきっかけに、令和5年に発足しました。現在、11人の女性部・次世代部員が所属し、毎月第1木曜日に活動しています。

Q2 活動の特徴を教えてください。

講師の中尾修二先生が毎回ヒアリングを行い、改善したい症状に合った運動を教えてくれます。さまざまな動作で全身をゆっくりと動かすので、年代を問わず誰でも無理なく続けられることが特徴。部員の多くが、体が動かしやすくなった、睡眠の質が向上したなどの効果を実感しています。

Q3 しゃきっと・Exer!!のPRをお願いします。

集中して運動に取り組み、休憩では部員や先生と楽しく会話をするなど、メリハリのある活動が心身のリラックスにつながっています。自分の力で体が整うと前向きな気持ちにもなれるので、興味のある方はぜひ体験に参加してみてください。

24時間電話対応

・24時間病院等へのお迎えと霊安室でのお預かりも承ります
・霊安室にお預かりして、ホールで納棺できます

☎046-221-1800(直通)

夜間受付電話(17時～翌日8時30分)は、「JAあつぎ夜間コールセンター」が対応いたします。

JAあつぎグリーンホール 小規模葬(家族葬)を執り行えます

JAあつぎでは、式場をコンパクトに設営することで、小規模葬(家族葬)にも対応しています。

組合員・利用者の皆さまのご希望に沿ってご案内いたしますので、お気軽にご相談ください。

訪問介護員募集のご案内

JAあつぎが運営する訪問介護事業所の訪問介護員を募集しています。急な休みが発生しても、仲間でカバーし合える、安心して働ける職場です。子育て中の方も大歓迎です。ご興味のある方は、ぜひお問い合わせください。

雇用形態　短期雇用職員(パートタイム)
業務内容　訪問介護業務
(入浴介助・おむつ交換・買い物同行・調理・掃除など)
賃金形態　時給1,120円～
契約期間　採用から令和6年3月31日まで
(更新する場合がございます)
試用期間　試用期間有り(3カ月程度)
就業場所　厚木市内および清川村で希望の勤務地域
(利用者居宅など)
就業時間　6時～22時で要相談
休憩時間　1日の勤務時間が連続で
6時間以上8時間未満は45分
8時間以上は60分
休　日　シフト制による
社会保険　雇用・労災・健康保険・厚生年金(雇用条件による)
要資格　介護福祉士・ヘルパー2級・
介護職員初任者研修修了者など

お問い合わせ　組織文化部(担当:福祉課)
☎225-7716

JAあつぎ本所クッキングスタジオ
「DaidoCoひなた」講習会のご案内

① 甘夏ピール作り講習会
日　時　2月6日(火)13時～16時30分
参加費　組合員・組合員家族800円(税込)
一般1,100円(税込)
定　員　先着25人

② スパイスを楽しもう！～チャイ～
日　時　2月16日(金)10時～12時
参加費　組合員・組合員家族700円(税込)
一般1,000円(税込)
定　員　先着25人

申込受付　12月28日(木)　8時30分より

お問い合わせ　組織文化部
(担当:生活ふれあい課)
☎221-6881

詳しくはJAあつぎホームページをご確認ください

かんきつ類栽培講習会のご案内

夢未市・グリーンセンターにおける、かんきつ類の地場産率向上に向けた講習会を開催します。新規栽培や出荷拡大、技術向上などを検討されている方は、ぜひご参加ください。

日　時　1月25日(木)13時30分より(概ね1時間30分)
場　所　JAあつぎ本所4階会議室「未来」
内　容　かんきつ類栽培の基礎、生育過程と栽培管理
苗木の定植方法について　など
講　師　県農業技術センター職員
申込方法　お問い合わせ先に直接お電話ください
申込受付　1月22日(月)まで

お問い合わせ　指導販売部(担当:営農指導課)
☎221-2273

JAねっとショップのご案内

JAねっとショップは組合員向けのサービスで、肥料・食料品などを注文することができます。会員登録料および利用料は無料で、店頭には無い商品も取り扱いがあります。ぜひご活用ください。

1メリット 利便性　24時間いつでもどこからでも注文することができます。
2メリット 予約機能　商品を予約注文※することができ、予約商品には値引きが適用されることがあります。
※予約注文とは、組合員・組織の取りまとめ注文のこと
3メリット 検索機能　購入履歴が検索できます。以前注文した商品等を簡単に再度、注文することができます。

会員登録の方法
①JAねっとショップにアクセス
②「新規ユーザー(登録へ)」をクリック
③お名前・メールアドレスを案内に沿って入力
④会員登録完了後、ログインに必要な情報をメールでお知らせします

登録はこちらから

毎月19日は「得の日」
3月までの毎月19日は「得の日」。
対象商品を特別価格で販売します。
※特売商品の内容は変更になる場合がございます

月	生産購買商品	生活購買商品
1月	バスタ液剤(2.2ℓ)	クミックスマジックカバー付(長靴)
2月	サンテーラ黒マルチ(95cm×200m)	こだわりのかりんとう(70g×8袋)
3月	サンサンネット(目合1mm・180cm×100m)	足柄茶リシール缶(290g×24本)

お問い合わせ　経済部(担当:購買課)☎221-0454

前期共計肥料配送日程

地区名	配送予定日
依　　知	1月12日(金)～1月17日(水)
荻　　野	1月25日(木)～1月29日(月)
睦　　合	1月18日(木)～1月24日(水)
小　　鮎	1月31日(水)～2月　1日(木)
玉　　川	2月13日(火)～2月16日(金)
南　毛　利	2月　2日(金)～2月　9日(金)
相　　川	1月　4日(木)～1月11日(木)
清　　川	令和5年12月13日(水)～12月15日(金)
本所(駅前)	1月30日(火)

※配送日程は天候等により前後する場合がございます
※配送日・配送時間の指定はお受けすることができませんので、ご理解・ご協力をお願いいたします
※40袋以上ご注文の方には配送予定日をご連絡いたします
※基本的には土曜日・日曜日の配送はございません

お問い合わせ　配送センター ☎0120-424-255または
経済部(担当:購買課)☎221-0454

厚木観光いちご狩り組合
厚木観光いちご狩り

1月から5月下旬までイチゴ園がオープンします。
イチゴの直売もありますので、ぜひお越しください。

・必ずご予約の上、ご来園ください
・入園料は各農園にお問い合わせください
・生育状況によって開園日や開園期間、時間等が変更になるほか、品種を選択できない場合があります

ご予約 お問い合わせ
杉山(すぎやま)いちご園(戸田 1822/1826 前)
☎090-5213-0922
清田(せいた)いちご園(戸田 1759)
☎228-6857
内海(うちうみ)いちご園(下津古久 696)
☎228-6967
わだいちご園(平塚市大神 216-1)
☎229-3415

詳しくはこちら

※感染症予防対策としてアルコール消毒・検温等を実施しております
※イチゴ狩り情報はJAあつぎホームページからもご覧いただけます

お問い合わせ　指導販売部(担当:営農指導課)☎221-2273

JAグループ神奈川がお送りする新鮮情報番組
かながわ旬菜ナビ

毎週日曜日 9時～9時30分
(再放送)毎週月曜日　10時～10時30分

1月 7日(再放送)8日	チカラを合わせて目標辰青(たっせい)！～輝け☆かながわ農業～	JAグループ神奈川 協力:JA横浜、JAセレサ川崎、JAさがみ、JA湘南
1月14日(再放送)15日	「温活」で免疫力アップ！～あつぎ～	JAあつぎ
1月21日(再放送)22日	甘酸っぱいトキメキ～海老名いちご～	JAさがみ
1月28日(再放送)29日	潜入！かながわ農業ハイスクール～吉田島高校編～	JAグループ神奈川 協力:JAかながわ西湘

各種相談受付(お問い合わせ 平日 8時30分～17時)

農業に関する相談(要予約)
日　時：平日 8時30分～17時
相談員：厚木市都市農業支援センター職員
お問い合わせ：厚木市都市農業支援センター ☎221-5511

交通事故受付
日　時：平日 8時30分～17時
相談員：査定課職員および全共連職員
お問い合わせ：共済部(担当:査定課) ☎221-2866

介護相談
日　時：平日 9時～17時
相談員：福祉課職員
お問い合わせ：組織文化部(担当:福祉課) ☎225-7716

結婚相談
日　時：第2・4土曜日 10時～15時
※場所は本所相談室302
相談員：専任相談員
お問い合わせ：総務部(担当:庶務課) ☎221-1666

理事会だより

令和5年11月30日に行われた理事会に上程された主な議案は、以下の通りです。

・令和6年度事業計画の事業別基本方針・重点実施事項・方策およびJAあつぎ自己改革の実践計画(自己改革工程表)について
・令和7年度新卒採用職員募集スケジュールについて
・マネロン等関連規程類の改正について
・(仮称)営農経済センターの名称決定および愛称の募集について
・訪問介護事業にかかる運営規程の一部変更について
・第2四半期末地区別総代会議の開催結果について
・令和5年度第4四半期の余裕金運用方針について

JAあつぎの概要(令和5年10月末日現在)

組合員数	18,710人
正組合員	4,196人
准組合員	14,514人
職員数(正職員)	360人
貯金	379,348百万円
貸出金	100,382百万円
共済保有高	591,529百万円
購買取扱高	2,248百万円
販売取扱高	892百万円
出資金	2,419百万円

●発行・編集／厚木市農業協同組合 総合企画部 企画課　〒243-0004 厚木市水引2-9-2
☎046-221-1666㈹　ホームページ／https://www.ja-atsugi.or.jp/
●印刷／山陽印刷株式会社　1月号 vol.225　2023年12月15日発行

穴をあけてとじる場合は、この三角形を目安にご利用ください。

国消国産 こくしょうこくさん

今月のレシピ

葉ニンニクとしらすの餅ピザ

材料（1枚分）

- 葉ニンニク……1/3本
- 切り餅……3枚
- しらす……15g
- トマトソース……大さじ1
- チーズ（ピザ用）……200g
- オリーブオイル……大さじ1
- オレガノ（乾燥）……適量

作り方

①葉ニンニクは斜めに細切りし、切り餅は厚さが半分になるように切る。
②フライパンにオリーブオイル（分量外）を入れて中火で熱し、切り餅を並べてふたをする。切り餅がやわらかくなったら表面を押し、形を整える。
③切り餅を裏返し、トマトソース、しらす、チーズ、葉ニンニクの順にのせ、オリーブオイルを具材全体にかける。ふたをして弱火にし、チーズが溶けるまで加熱する。
④ふたを取って強火にし、表面がカリっとしたら取り出す。
⑤器に盛り、オレガノをかけたら完成。

旬の農産物情報

1月のおすすめ「葉ニンニク」

ビタミンCやEなどの栄養を豊富に含む葉ニンニクは、収穫期間が短く、冬の数カ月だけ味わうことができる希少な野菜。ギョーザや鍋はもちろん、さまざまな料理で活躍します。

清川村煤ヶ谷で年間を通して露地野菜を生産しています。葉ニンニクは、約5アールの面積で「ハーリック」を栽培。11月下旬から3月にかけて、夢未市やグリーンセンター、道の駅「清川」に出荷しています。

栽培では、小まめな除草やネット・ビニールを使った病害虫対策を行うなど、丁寧に管理。出荷の際は、品質だけでなく荷姿にもこだわり、消費者に喜ばれる野菜を届けるよう努めています。

葉ニンニクは、辛みや匂いが優しく、ニンニク本来の甘みが感じられます。新鮮なほどシャキシャキとした食感が楽しめるので、ぜひ地場産を味わってみてください。

私が生産する葉ニンニクは夢未市、グリーンセンター、道の駅「清川」で販売しています！

細野（ほその） 友美（ともみ）さん
（清川地区）